

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 024号

産業カウンセラーとしての、 これからの歩き方

小竹 一郎さん

会社名：（一財）NHK サービスセンター 所属：広報プランニング部

資格：産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント



【受講のきっかけ】

40代後半、人事異動で予想外の部署に行くことを命じられ、私は組織の中で自分の立ち位置がわからなくなり、やや自暴自棄になっていました。今思えば職場環境の急激な変化により「中年の危機」に陥り、“自分探し”をしたくなっただけかも知れません。

ネットを検索して「産業カウンセラー」を見つけ、当時はよく調べもせずに漠然と心理学が勉強できそうなどころがあると思い、2009年4月から船橋教室の日曜コースに通い始めました。世の中には心理学を生かした言葉は数多くありますが、自己肯定感のやや低い私は、仕事で行き詰ると「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」「私は私、あなたはあなた」など、これらの言葉を頭の中で反芻しながら何とか働いてきました。養成講座で学んだ理論や経験は、今でもずっと私の心の支え、杖となっています。

【資格取得後の活動状況】

産業カウンセラーの資格取得後、実技指導者の勧めもあり、2011年に協会の「キャリアコンサルタント養成講習」を受講しました。その後は、どうしたものかと考えていたところ、同じ養成講座で学んでいたFさんから本格的に勉強をするなら「相談員研修基礎講座」とその次に「アドバンス講座」というものが

あることを教えてもらい、2013年・14年に受講してみることにしました。ここでは逐語記録、事例検討について、一年間かけて参加者の事例を共に学ぶことで多くの知見を得ることができました。余談ですが、“傾聴”ができるようになると自分の周りが少しずつ変わり始め、まずは妻との夫婦げんかが目に見えて減り、会社では部下や後輩が相談に来てくれるようになり、人間関係が好転するようになったことは予想外の驚きでした。

現在は、「千葉無料カウンセリング」と「こころの電話相談室」で経験を積ませてもらっていますが、毎回驚きと反省と学びの連続で冷や汗が出る思いです。その都度先生方からは、親身にスーパービジョンをいただき、これが的を得ているだけにズシリと応えるのですが、“大切なプレゼント”だと思い次に生かすようにしています。

まだまだ未熟ですが、目の前のクライアントに対しては“少しでも気持ちを楽しんで帰ってもらう”ように気をつけています。これまで30数年間「マス・コミュニケーション」の仕事をしてきましたが、これからはカウンセラーとしてクライアント一人ひとりと向き合い「パーソナル・コミュニケーション」を大切にしていきたいと考えています。講座等でお目にかかったら、ぜひ気軽にお声がけください。これからも、よろしくお願いします。